

平成20年度財団法人山形県体育協会事業報告

1 県民総スポーツの推進に関する事業

(1) 地域団体(市町村体協等)の活性化

- ① 総合型地域スポーツクラブの育成・活動支援
 - ・クラブ育成アドバイザー2名を配置し、未育成市町村を中心に育成支援、活動支援を目的とした事業を実施した。
 - ・クラブリーダーの育成(ドイツのスポーツクラブ視察研修事業)
11月14日～21日(8日間) 6名を派遣
 - ・クラブ連絡協議会の活動を支援
- ② 地区体協連絡協議会の活動支援 (7地区)

(2) スポーツ少年団の育成

- ① 指導者の育成と指導者組織の充実
有資格者 3,685名
- ② 関係機関・団体との連携の強化
- ③ リーダーの養成と活動体制の強化
リーダー会を開催しリーダーの養成に努めた
- ④ 各種交流事業の充実
 - 山形県スポーツ少年大会 47名参加 8月8日～10日
 - 東北地区スポーツ少年大会 9名参加 8月2日～5日
 - 全国スポーツ少年大会 9名参加 8月9日～12日
- ⑤ 専門委員会の活動の活性化
 - 企画委員会 2回
 - 普及委員会 2回
 - 活動委員会 2回
 - 指導育成委員会 3回

(3) 少年スポーツの育成

- ① 少年少女スポーツ交流大会の充実
参加意欲の喚起に努めた。16種目 4,960名参加

(4) 社会体育指導者の養成と活用

- ① 公認スポーツ指導者養成講習会の開催
- ② 県スポーツ指導者協議会との連携
山形県スポーツ指導者研修会の開催 10月18日 217名

2 競技力の向上に関する事業

(1) 第63回国民体育大会及び第64回国体冬季大会のための、強化コーチングスタッフ及び強化指定選手の指定

監督・コーチ 117名
選手 582名

(2) 国際競技大会出場選手等に対する激励費の交付

国際大会出場選手16名の選手、オリンピック出場選手9名に交付

- (3) 「チーム山形」の意識高揚を図るための事業推進
体育協会垂れ幕の作成
「スポーツで元気な山形」「向上無限」
- (4) 山形県スポーツ指導者講習会の開催(共催事業)
期 日 10月18日
会 場 山形県総合運動公園
参加者 217名
内 容 講演 ①世界のスポーツの状況・・・勝田 隆
②子供の体力向上について・・・佐々木玲子
研究協議
①北京オリンピックまでの道のり
②タレント発掘事業
③総合型地域スポーツクラブの現状
- (5) 女子駅伝強化事業
全国都道府県対抗女子駅伝競争大会に出場する本県チームの強化事業を支援。14位。
- (6) トレーナー帯同支援事業
競技団体が国体及び東北総体に帯同するトレーナーの旅費の一部を補助し、天皇杯得点獲得に貢献した。
・東北総体・・・水泳、ソフトボール、バドミントン、剣道、
ホッケー・卓球、ラグビーフットボール
・国体(本大会)・・・バスケットボール、陸上競技
・国体(冬季)・・・スケート、スキー
- (7) スポーツタレント発掘事業
本県から国際舞台で活躍する選手を輩出するための、スポーツタレント発掘事業の計画策定について、県教育委員会と連携して事業推進に務めた。

3 競技強化特別対策事業

- (1) 優秀指導者・選手確保事業
スポーツアドバイザー1名・スポーツ指導員3名・スポーツ技術員5名を採用し、強化指導の実施や国際大会・全国大会等への派遣等を実施した。
- (2) 競技強化支援事業
競技スポーツの強化及び普及を図るため、スポーツ関係団体が実施する各種競技強化支援事業への補助
- (3) 企業スポーツ支援事業
企業スポーツの活性化と競技力向上を図るため、「山形県企業スポーツ振興協議会」への助成を行った。
- (4) 第7回日韓青少年冬季スポーツ交流事業(派遣/受入) <対象 中学生>
スキー競技の日韓交流を行い、ジュニアの競技力向上を図った。

(派遣)

期 日 平成21年1月18日～24日
場 所 ソウル・ヨンピョン
参加者 役員2名、監督・選手54名

(受入)

期 日 平成21年2月23日～3月1日
場 所 ライザスキー場
参加者 <韓国>役員3、監督・選手54名
<日本>役員3、監督・選手52名、事務局9名

4 各種大会の開催並びに派遣に関する事業

(1) 第63回国民体育大会県予選会(本大会)

7月11日～13日 (主会期)

38競技 6,870名参加

(2) 県内スポーツフェスティバル(少年少女スポーツ交流大会)の開催

10月5日 県内各地(主会期)

16種目 4,960名参加

(3) 第35回東北総合体育大会

8月22日～24日 山形県(主会期)

37競技 1129名参加

(4) 第63回国民体育大会(本大会)

9月11日～15日 大分県

9月27日～10月7日 大分県

33競技 452名参加

天皇杯得点 779.5点 38位

(5) 第64回国民体育大会県予選会(冬季)

(スケート・アイスホッケー)12月下旬/平成21年1月上旬 山形市他

(スキー) 平成21年1月中旬 山形市他

(6) 第64回国民体育大会冬季大会

(スケート・アイスホッケー)平成21年1月28日～2月1日 青森県

天皇杯得点 50点 7位

(スキー) 平成21年2月17日～20日 新潟県

天皇杯得点 80点 5位

(7) 国体及び東北総体出場選手に対するユニフォーム作製費補助

補助人数 465人

作製費総額 2,612,900円

補助金の額 1,206,000円

5 加盟団体育成に関する事業

(1) 競技団体の育成

競技の普及および強化事業の推進のため、国体正式種目外競技に対し、強化費を交付した。

(2) 地域団体の育成

地区体育協会連絡協議会に対して助成金を交付し、地域スポーツ振興の助成を行った。

(3) 学校体育団体の育成

中体連・高体連の事業に対し助成金を交付し、地域スポーツの振興を図った。

6 広報に関する事業

(1) ホームページの充実を図り、体協活動の積極的な情報の提供を行う

ホームページを刷新し、積極的な情報の発信に努めた。タイムリーな情報提供と業務の円滑な推進のためのデータベース化を図った。

(2) 県体協機関紙「スポーツ山形」の発行

「スポーツ山形」58号、59号を作成し、広く情報の発信に努めた。

(3) スポーツ少年団広報紙「大空に翔る」の発行

「大空に翔る」25号を発行し、スポーツ少年団活動の普及・啓蒙に務めた。また、バックナンバーをホームページに掲載した。

(4) 総合型地域スポーツクラブ啓発リーフレットの作成

啓発リーフレットを作成・配布し広く啓発に努めた。

7 顕彰に関する事業

本会表彰規程に基づく顕彰

- | | |
|-------|-----------------|
| ① 殊勲賞 | …団体7、個人42 |
| ② 奨励賞 | …団体2、個人18 |
| ③ 功労賞 | …個人15 |
| | ライオンズスポーツ賞…個人 2 |
| ④ 感謝状 | 0 |

8 財政の確立と組織体制の確立

(1) 財政基盤の確立

賛助会員の拡大を目指すとともに、免税募金制度を活用し財源の確保に努めた。

①財務委員会で財政基盤の確立のための検討を進めた。

②ホームページ上に賛助会員名を載せるとともに、会議・研修会において会員名簿を配布する等積極的に会員拡大に務めた。

- (2) 新専門委員会活動の活発化を図る
専門委員会の改変を行い、より活動の活性化を図れる体制とした。
新委員会を以下のとおりとした。
総務・企画委員会 財務委員会 生涯スポーツ推進委員会
競技力向上委員会 スポーツ医科学委員会 広報委員会
- (3) 事務局組織体制の活性化
業務内容の見直しとともに、業務の効率的な推進に努めた。

9 スポーツ医科学活動の推進

- (1) 日体協公認スポーツドクター及びスポーツプログラマー・アスレチックトレーナーの資格取得促進と活用
- (2) スポーツドクター研修会(東ブロック)の開催
平成20年7月20日に、山形市のテルサにおいて東ブロックスポーツドクター会を開催した。
- (3) 「スポーツ医科学研究報告書」の作成
- (4) 国体への帯同ドクターの派遣
スポーツ医科学委員会において人選を進め、各季大会にスポーツドクターの帯同を行った。
- (5) トレーナー帯同支援事業
・東北総体 ……水泳、ソフトボール、バドミントン、剣道
ホッケー・卓球、ラグビーフットボール
・国体(本大会) ……バスケットボール、陸上競技
・国体(冬季) ……スケート、スキー
- (6) アンチ・ドーピング普及・啓発事業の推進
東北総体結団式の時に、アンチ・ドーピング研修会を開催し、監督・コーチングスタッフに対しスポーツ医科学委員会の委員により説明を行った。

10 事故防止と補償制度の活用

- (1) スポーツ活動における事故防止の徹底と補償制度の活用促進
- (2) (財)スポーツ安全協会山形県支部との業務連携

11 青少年の健全育成

- あらゆるスポーツ活動の機会を通して、フェアプレー精神の高揚を図り青少年の健全育成に努めた。

《参 考》

1 開催会議等

①! 県体協理事会	4回
② 県体協評議員会	3回
③ 県体協各専門委員会	
総務・企画委員会	2回
財務委員会	1回
生涯スポーツ推進委員会	2回
競技力向上委員会	2回
スポーツ医科学委員会	1回
広報委員会	2回
④ 東北総合体育大会代表者会議	1回
⑤ 国民体育大会代表者会議	1回
⑥ 国体県予選会実行委員会・事務局会	2回

2 出席会議等

① 日本体育協会評議員会	2回
② 日本体育協会加盟団体事務局長会議	1回
③ 都道府県体育協会連合会総会	1回
④ 都道府県体育協会連合会事務局長研修会	1回
⑤ 都道府県体育協会事務局職員研修会	1回
⑥ 東北六県体育関係者会議(東北6県体育協会連絡協議会)	2回
⑦ スポーツ安全協会担当体育協会事務局連絡協議会	2回